

◆業務に役立つ英単語&用語集◆

最近の図書館用語 ～病院図書室を中心に～

インターネットや雑誌記事で見かける様々な専門用語。「これってどういう意味だろう」と思ったことはありませんか？

そんな疑問にお答えします！図書室業務で使用する用語を集めてみましたので、ぜひお役立てください。

編集：雑誌編集・リポジトリ委員会



電子ジャーナル関係や IT 系の用語



CrossRef：クロスレフ

出版社国際リンク協会（PILA：Publishers International Linking Association, Inc）が運営している非営利団体組織であり、DOIを発行している登録機関の一つでもある。DOIを用いることで、出版社間のオンラインジャーナル同士を継続的にリンクさせるサービスを提供している。医中誌 Web や J-STAGE から CrossRef を経由して多くの論文とリンクしている。

DDS (Document Delivery Service)

文献送付サービスのこと。ILL との違いは、ILL は図書館間の文献複写サービスを指すのに対し、DDS は文献提供者（図書館等）と文献利用者の間の文献提供サービスを指している点だと言える。代表的なものに、「医中誌 Web. DDS」があるが、他にもサンメディアの ARROW、丸善雄松堂の BLDSS サービス、ユサコの Reprints Desk など多くの DDS がある。

DOI (Digital Object Identifier)

デジタルオブジェクト識別子。Web 上の電子文献等に対し恒久的に対応するコード。文献を管理している EJ サイトの URL が変更されたり、掲載雑誌が出版社を移転しても DOI によって目的の文献にアクセスできる仕組み。文献単位だけでなく、図表や任意のページごとに付与されている場合もある。<https://doi.org/> に続けて DOI コードを入力するとアクセス可能。

http (Hypertext Transfer Protocol) と https (Hypertext Transfer Protocol Secure)

「https」は、SSL/TLS プロトコルにより暗号化された http 通信のこと。「http」で始まっている場合は、データの送信は平文で行われているが、「https」で始まるサイトでは、データの暗号化通信が行われているため、第3者からは通信の内容を読みとくことができない。しかし、そのサイトが「https」で始まっているからといって必ずしも安全とは言えない。偽サイトの可能性もあるので、アドレスバーに表示されている鍵マークをクリックし、そのサイトの所有者の「SSL サーバー証明書」の情報を確認するなど、利用する際は慎重さが必要である。

【参考文献】

株ハイパーボックス. データライブラリー：https とは？http との違いと SSL 暗号化通信の仕組み. [引用 2018. 9. 14]. <https://www.ssl.ph/compare/ssl/datalibrary/contents06.html>

JAPICDOC、JMEDPlus、MEDLINE

JAPICDOC：日本医薬情報センターが作成・提供する国内並びに海外の医学・薬学関連文献から医薬品に関する情報を蓄積したデータベース。

国内文献は、医薬品の基礎から臨床までの情報で、特に医薬品の有効性や安全性を中心に収録しており、海外文献は、安全性に関する情報のみ収録している。

JMEDPlus：科学技術振興機構（JST）で作成している医薬文献情報データベース。

日本国内発行の資料から医学、薬学、歯科学、看護学、生物科学、獣医学等に関する文献情報と国内学会が編集する海外出版社発行誌、予稿集や学会講演要旨集等を収録している。

MEDLINE：米国国立医学図書館（NLM）が、作成・提供する医学を中心とする生命科学の文献情報を収集したオンラインデータベース。

LAN：ラン (Local Area Network：ローカル・エリア・ネットワーク)

限られた範囲内にあるコンピュータや通信機器、情報機器などをケーブルや無線電波などで接続し、相互にデータ通信できるようにしたネットワークのこと。概ね室内あるいは建物内程度の広さで構築されるものを指す。

LAN の構築方法には有線または無線を用いる方式がある。通信ケーブルを用いず、無線通信によって LAN を構築する方式は、特に無線 LAN と呼ばれている。LAN を組むと、別のパソコンに保存されているデータも、簡単に手元のパソコンに引き出すことができる。その為、その都度メモリーや USB メモリー等で渡さなくていいという利便性がある。また、パソコンが数台であってもプリンタが1台しかないという状況でも、どのパソコンからもプリンタが使うことができる。

【参考文献】

インセプト. IT 用語辞典 e-Words. [引用 2018. 9. 14]. <http://e-words.jp/w/LAN.html>

Open Athens : オープン・アセンス

英国の情報技術サービス会社（非営利）である Eduserv によって提供される、ID およびアクセス管理サービス。1つのID・パスワードで、対応しているあらゆるシステムが利用可能になる（シングルサインオン）。コンテンツの提供者ごとに利用者名やパスワードを管理する必要がなくなる。

Tier : ティア

機関の規模や所属人数などによってランク別に分けられた階層のこと。オンラインジャーナルやデータベース購入の際、Tierの階層により契約価格が決定する。利用が多く見込まれる機関のTierは高価格になり、少ない機関は低価格になる。Tierの階層は出版社側で設定している。

VPN (Virtual Private Network : バーチャル・プライベート・ネットワーク)

公衆回線を専用回線であるかのように利用できるサービスで、のぞき見や改ざんなどの不正アクセスを防ぎ、安全な通信を低コストで可能にする技術のこと。

図書館向け電子コンテンツ（電子ジャーナル、電子書籍、データベース等）へのリモートアクセスを可能にするために利用されているVPNツールとして、OCLCが提供するEzproxy(代理店：紀伊国屋書店)やiGroup Japanが提供するRemoteXs（リモートエックス）(代理店：丸善雄松堂)などがある。

アクティベート : Activate

電子ジャーナルの利用開始にあたり、初期登録作業を行い利用可能な状態にすること。

電子ジャーナルをアクティベートする、などといったように使用する。

アグリゲータ : Aggregator

複数の出版社から提供される電子ジャーナルなどを分類し、まとめて提供するサービスを行う業者の総称。EBSCO Publishing社のEBSCOHost、科学技術振興機構のJ-STAGEなどがある。

【参考文献】

大学図書館コンソーシアム連合（JUSTICE）. 電子資料契約実務書. [参照 2018. 9. 14]. https://www.nii.ac.jp/content/justice/documents/justice-companion_excerpted_201203.pdf

アラートサービス : Alert Service

予め指定しておいた条件が満たされた時に、自動的に利用者に発信される通知を行うサービスのこと。

インパクトファクター : Impact Factor (IF)

特定の期間において、雑誌に掲載された論文が平均的にどれくらい引用されているかを示す尺度のこと。研究業績比較のための指標とされ、一般的に Journal Citation Reports (JCR) が使用されることが多い。

【参考文献】

クラリベイト・アナリティクス. Journal Citation Reports : インパクトファクターの調べ方. [参照 2018. 9. 14]. https://clarivate.jp/wp-content/uploads/2017/10/impactfactor_qrc.pdf#search=%27%E3%82%A4%E3%83%B3%E3%83%91%E3%82%AF%E3%83%88%E3%83%95%E3%82%A1%E3%82%AF%E%82%BF%E3%83%BC+2017%27

エンバーゴ : Embargo

ジャーナル刊行後、リポジトリやアグリゲータなどのデータベースで全文公開されるまでの一定の期間のこと。期間はジャーナルにより異なる。エンバーゴが1年の場合、1年たてば全文公開となる。

クラウド : Cloud (クラウドコンピューティング)

PC にダウンロードやインストールした上で利用していたデータやソフトを、ネットワークを通じて利用すること。なぜ「cloud=雲」という言葉が使われているかということ、IT 業界ではネットワークの向こう側のことを雲のイラストを使ってシステム構成図に表すという慣習があるからである。

ソリューション : Solution

「回答」や「解決」などの意味を持つ英語で、問題や不便を解消すること、また、そのために提供される情報システムを指す。図書館では、利用者とシステムを連携させる図書館サービスを図書館ソリューションと総称する。

データマイニング : Data Mining

膨大なデータから有益な情報を発掘する技術、手法の総称である。これによりデータの分類、関連性、事象の発生確率の予測が可能になった。

ピアレビュー : Peer Reviewed Journal

査読のこと。Peer (同僚、仲間) による Review (評価、検証)。学術論文を学術雑誌に掲載する場合、掲載される論文の質を保証するために、同じ専門分野の研究者による評価 (査読) が行われる。査読を行う専門誌は「Peer Reviewed Journal」と呼ばれる。近年は、査読が不十分である「ハゲタカジャーナル」と呼ばれる粗悪な学術雑誌も問題になっている。

ファイル形式 - HTML : エイチ・ティー・エム・エル (Hyper Text Markup Language)

Web ページを作成するために開発された言語のこと。HTML 形式は文書フォーマットの一種でホームページとして公開される文書を作成する時に利用されるフォーマットである。

ファイル形式 - PDF : ピー・ディー・エフ (Portable Document Format)

Adobe Systems が開発した、テキストや画像を含む電子文書を扱う技術、およびファイル形式のことでファイルには拡張子として「.pdf」が付く。

特徴として、テキスト、画像、ハイパーテキストといったマルチメディアを、同じ文書内で扱い、元のレイアウトを再現することが可能で Windows や Mac OS、各種のモバイル端末など、あらゆるプラットフォームをサポートしているため、コンピュータの環境に左右されずに、ほぼ同様の文章や画像等を閲覧することができる。文書のセキュリティを設定できたり、圧縮してファイルを小さくしたり、文書を表示するときにしおりや注釈などの機能を使うこともできる。

ファイル形式 - XML : エックス・エム・エル (Extensible Markup Language)

ファイルの種類を表す拡張子のひとつ。XML ファイルとは XML のルールに従って書かれたテキストファイルで、HTML がホームページ作成専用とするならば、XML は、データをやり取りするときや、設定ファイルを書くときなどに利用される。

XML ファイルの拡張子は「.xml」の場合が多いが、ブログの更新内容が記載された RSS ファイル（拡張子「.rss」）も、中身は XML ファイルである。

ファクトデータベース : Fact Databases

研究・調査活動によって得た一次情報、つまり事実 (facts) を収録したデータベース。収録内容は、統計・実験・観測データ、図書・雑誌・論文の全文、地図・医療画像などの画像、ニュース・映画を含む映像など形態は様々。特定分野を網羅したデータベースを指す場合が多い。文献の抄録や書誌のデータなど情報を探す手がかりとなるレファレンスデータベース (reference databases) に対して、情報そのものを収録しているものであるため、ソース・データベース (source databases) ともいう。

プラットフォーム : Platform

システムの基盤となるソフトウェアやハードウェアの環境のこと。たとえば、あるアプリケーションが Windows XP で動作する場合は、Windows XP がプラットフォームになる。

図書室業務上よくみかける用語で、「ものごとの基礎・基盤」という意味合いで使われている。事典の説明をより簡単にいうと、動かすために必要な「土台となる環境」と考えればよい。

【参考文献】

野々山隆幸. 超図解パソコン用語事典. 東京: エクスメディア; 2004. p. 1068.

プレプリント : Preprint

著者が査読前に、インターネット上にアップする掲載論文の複製のこと。

メタデータ : Metadata

メタデータとは、データそのものではなく、所有権やアクセス権など、そのデータに付随する属性や関連する情報を記したデータのこと。

【参考文献】

インセプト. IT 用語辞典 e-Words. [参照 2018. 9. 14]. <http://e-words.jp/w/%E3%83%A1%E3%82%BF%E3%83%87%E3%83%BC%E3%82%BF.html>

リソース : Resource

英語で「資源・資産」を指す名詞で、プログラムやネットワークで利用する様々な要素のこと。病院図書館では文献検索データベース、電子ジャーナル、電子ブック、診療サポートツールを意味する。

リポジトリ : Repository

倉庫という意味。何かの保管場所。

情報工学においては、システムを構成するデータやプログラムの情報を収めたデータベースのことであるが、図書室業務では「機関リポジトリ」という用語をよく見かける。機関リポジトリ (Institutional Repository) とは、大学や研究機関の所属研究者が創造した電子的な知的生産物を収集、蓄積、原則的に無償で提供するシステム、またそのサービスのことである。

一次資料、二次資料

図書や雑誌、論文などのような情報本体、原文そのもの、またインターネット上の情報などこれらをまとめて「一次資料」という。

一次資料にどのようなものがあるか、どこにあるかを調べるための情報（文献データベースなど一次資料を探すために作られた資料）を「二次資料」とよぶ。一次資料に到達する手がかりとなる資料、探すために使う資料のことである。

二次資料には目録、書誌、抄録誌、索引誌などの検索ツールがあり、近年はオンライン (Web) のものが主流になってきている。

仮想図書館

ネットワーク上にある図書館のこと。

インターネット上には、現在さまざまな情報が電子化され、多様な形で利用者に提供されている。電子化された図書情報の集合は一種の図書館であると考えることができ、電子（バーチャル）図書館機能ともいえる。

学認（学術認証フェデレーション）

電子ジャーナルなどのサービスを利用する大学と提供する機関・出版社等から構成された連合体のこと。各機関の連合体が定めた規程を信頼しあうことで、相互に認証連携を実現し、様々なサービスの利用を可能にしている。この認証連携の実現により、大学内において一つの ID・パスワードであらゆるシステムが利用可能となる。また、他大学・学外においても同様に一つの ID・パスワードであらゆるシステムをスムーズに利用できるようになる。

【参考文献】

学術認証フェデレーション（学認）. [参照 2018. 9. 14]. <https://www.gakunin.jp/>

検索エンジン：Search Engine

インターネット上に存在する情報の中から目的に応じた情報を表示するためのシステム。またはそのようなシステムを提供しているサービスのこと。

代表的なものに Yahoo! や Google がある。知りたい情報のキーワードを入力することで目的に添った Web サイトを検索する。

出版バイアス：Publication Bias

思っていたこととは違う、否定的な結果が出たときには、肯定的な結果が出たものと比較して公表されにくいというバイアス（偏り）がある。有意な結果は論文などで出版されやすいが、そうでない結果は何らかの形で出版される可能性が低くなる。これを「出版バイアス（publication bias）」という。



医学雑誌の特集記事などに
よく使われる医療用語



COPD（Chronic Obstructive Pulmonary Disease：慢性閉塞性肺疾患）

肺気腫・慢性気管支炎に分けられていた病気の総称。

たばこの煙などの有害物質が原因で肺が炎症を起こし、呼吸がしにくくなる病気。

DM（Disease Management）

疾病管理。慢性疾病の重症化を予防するために、診療ガイドラインに沿ってプログラムを作成し、患者と医療従事者とのコミュニケーションを促して患者の自己管理を支援し、医療サービスを提供することである。

ES細胞 (Embryonic Stem Cell)・iPS細胞 (Induced Pluripotent Stem cell)

ES細胞 (胚性幹細胞) とは、受精卵から発生した胚の一部を培養した、多様な細胞に分化できる細胞。成体にも幹細胞は存在しており、現在、骨髄、血液、角膜、網膜、皮膚、脳、心臓、肝臓などさまざまな組織に見つかっている。

iPS細胞 (人工多能性幹細胞) は、人間の皮膚などの体細胞に、ごく少数の因子を導入し、培養することによって、様々な組織や臓器の細胞に分化する能力とほぼ無限に増殖する能力をもつ多能性幹細胞に変化する。iPS細胞は患者さん自身の細胞から作製することができ、分化した組織や臓器の細胞を移植した場合、拒絶反応が起こりにくいと言われている。

ES細胞・iPS細胞の再生医療 (細胞移植治療) から病気の性質を持った細胞を作ることができれば病気が発症するしくみや原因を調べることができる。再生医療や病態解明、創薬研究への応用に期待が高まっている。

【参考文献】

科学技術振興機構. ips細胞ってどんな細胞?. [引用 2018. 9. 14]. <http://www.jst.go.jp/ips-trend/symposium/pdf/no04/poster/no07.pdf>

IC: アイシー (Informed Consent: インフォームド・コンセント)

論文等の文中で、インフォームド・コンセントの記載を省略する方法として見かける。

意味は「説明と同意」で、医療において患者の自己決定を尊重し、その最善利益を保護するための倫理概念。医療職者が診断や治療・予後にかかわるすべての医療情報を開示して十分に説明し、話し合いをおこない、患者がその説明を十分理解した上で、自らの価値観、および意思に沿って自身の診療について選択・決定したり医療者・家族等と共に考える一連の過程のこと。

【参考文献】

井部俊子ほか. 看護・医学事典. 7版増補. 東京: 医学書院; 2015. p. 72.

NIC: ニック (Nursing Interventions Classification)

看護介入分類。1987年から、アメリカのアイオワ大学が中心となって開発してきたもので、看護師が実施するあらゆる介入 (患者の期待される成果を高めるために行うケア) を標準化し、分類したもの。

QOL (Quality of Life)

生命の質・人生の質・生活の質。これら3つの側面を包含する個人を尊重した全人的な概念、または評価基準。人が生きるうえで感じる日常生活の充実度や満足度のこと。

アドミッション: Admission

入院のこと。入院している状態を「hospitalization」、入院するという行動を「admission」と分けて使用する。それ以外に入場・入会・入学という意味もある。

エンゼルメイク : Angel Makeup

死化粧、死後処置。死者の外見や身だしなみを化粧品や爪切りなどを用いて綺麗に整える行為のこと。

ゲノム医療 : Genomic Medicine

世界中の多様な人々は、基本的な体のつくりは同じだが、肌の色や目の色はさまざまである。この違いを作りだしているのが「ゲノム（全遺伝情報）」であり、ヒトとイヌの違いを作りだしているのもゲノムである。ゲノムは、遺伝情報のすべてを指す。ゲノム情報は体をつくるための、いわば設計図のようなもので、それらを網羅的に調べ、その結果をもとにして、より効率的・効果的に病気の診断と治療などを行うのがゲノム医療である。

【参考文献】

国立国際医療研究センター病院. ゲノム医療とは. [引用 2018. 9. 14]. <http://www.hosp.ncgm.go.jp/s038/genomicmedicine/index.htm>

テーラーメイド医療（遺伝子治療・再生医療）

遺伝子の違いにより薬の効き方には個人差がある。テーラーメイド医療とはこの遺伝子の違いを調べることで、個人一人ひとりに効果が高く副作用が少ない薬や治療を提供することである。

ノルディックウォーキング

2本のポール（ストック）を使っでの歩行運動。全身の筋肉を使用するので、普通のウォーキングよりエネルギー消費量が約20%増加。肩や首のコリの解消、肩甲骨の可動域の改善にも有効である。歩行訓練や循環器系の病気のリハビリの運動にも適している。

【参考文献】

総合体力研究所. ノルディックウォーキング：歩き方とその効果. [引用 2018. 9. 14]. <http://www.sotaiken.co.jp/wgs2/blog/fp/27/>

メタ（Metastasis）

意味は、転移。悪性腫瘍等が肝臓へ転移したことを「肝メタ」、脳への転移は「脳メタ」というように使用する。

ロボット支援手術（da Vinci : ダ・ヴィンチ）

アメリカで開発された内視鏡手術支援ロボットのこと。

鮮明な3D画像・精密な動作が可能・手ぶれがなく正確という特徴があり、メリットとしては身体への負担が少ない・手術後のQOL（生活の質）の向上がある。

なるほど！

